

2007年3月期決算説明資料

【目次】	<ページ>
損益状況	1
財務状況	2
ATM利用件数の推移	3
ATM設置台数の推移	4
提携金融機関一覧	5
広告宣伝活動、CSR活動	6
預金口座(個人)の状況	7
07年度業績見通し	8
今後の取組み	9-11

損益状況

ATM設置台数は計画を下回るも、利用件数の増加等により、経常収益、経常利益は伸長。また、新世代ATM設置に伴う従来ATMのリース解約金について、06年度分だけでなく、将来(07年度)発生見込み分も合わせて計上したことから、特別損失が拡大したものの当期純利益は増加。

単位：億円（単位未満は切り捨て表示）

	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度		06年11月 時点の 見通し
							前年比(%)	
経常収益	19	115	291	479	646	754	116%	755
経常費用	140	197	260	378	452	504	111%	527
経常利益	△121	△81	30	100	194	250	128%	227
特別損益	-	△0	△1	△1	△28	△40	-	△20
法人税等及び 法人税等調整額	0	0	△21	△9	60	83	-	83
当期純利益	△121	△81	50	108	105	126	120%	123
期末ATM設置台数	3,657台	5,250台	7,804台	9,981台	11,484台	12,088台	105%	約12,100台
期間総利用件数 (入金・出金・振込件数の合計。 残高照会は含まず)	14百万件	72百万件	158百万件	257百万件	342百万件	418百万件	122%	約415百万件

初の公募債600億円を発行。資金調達の多様化を図る。
利益剰余金を積み上げ、創業以来初の配当を予定。

貸借対照表(07年3月末)

単位: 億円
(単位未満は切り捨て表示)
()内は、06年3月末との差異

現金	2,425
	(+200)
預け金	122 (△183)
コールローン	945 (+945)
有価証券	783 (+248)
ATM仮払金等	803 (+387)
有形固定資産 90(+81)	
繰延税金資産 21 (+12)	
貸倒引当金△0.7(△0.3)	
ソフトウェア*	136 (+25)
* ソフトウェア仮勘定等含む	

資産 5,327 (+1,714)

預金(個人)	721 (+201)	負債
預金(法人)	1,156 (△141)	
譲渡性預金	873 (+722)	
借入金	650	4,589 (+1,647)
社債	750 (+600)	
ATM仮受金等 その他負債等	437 (+264)	純資産
資本金	305 (△305)	
資本準備金	305 (+305)	
利益剰余金	187 (+127)	738 (+68)
自己株式等	△59 (△59)	

負債+純資産 5,327 (+1,714)

剰余金の配当(予定)について

基準日	2007年3月31日
1株当たり配当金	5,000円00銭
配当金の総額	5,831,750千円
効力発生日	2007年6月25日
配当原資	利益剰余金

自己資本比率 (国内基準)
37.94%(速報値)

ATM利用件数の推移

総利用件数は4億件を突破。1日1台あたり期間平均利用件数は100件に迫る。

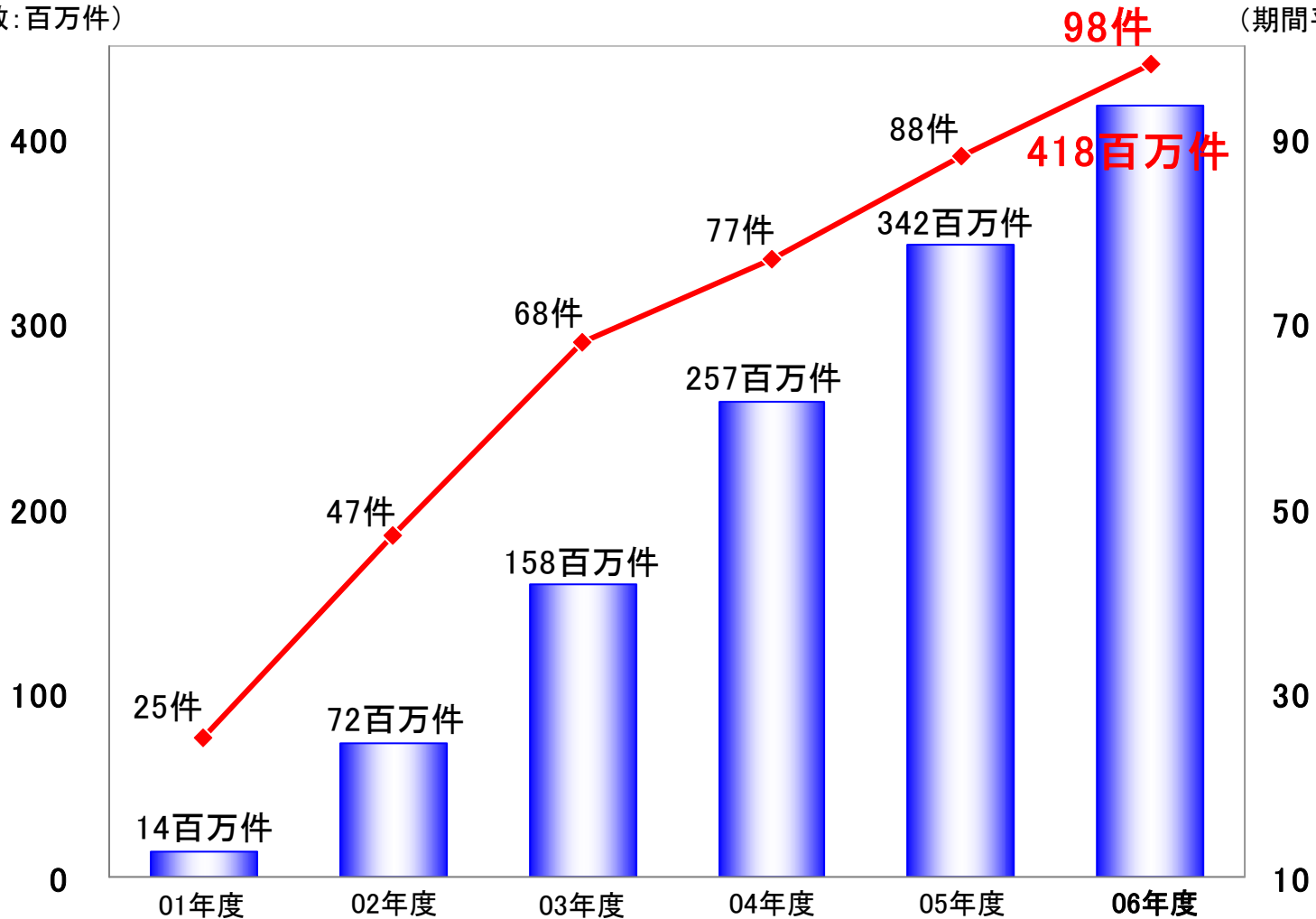
■ ATM総利用件数※

◆ 1日1台あたり期間平均利用件数※

※ 入金・出金・振込件数の合計。残高照会は含まず。

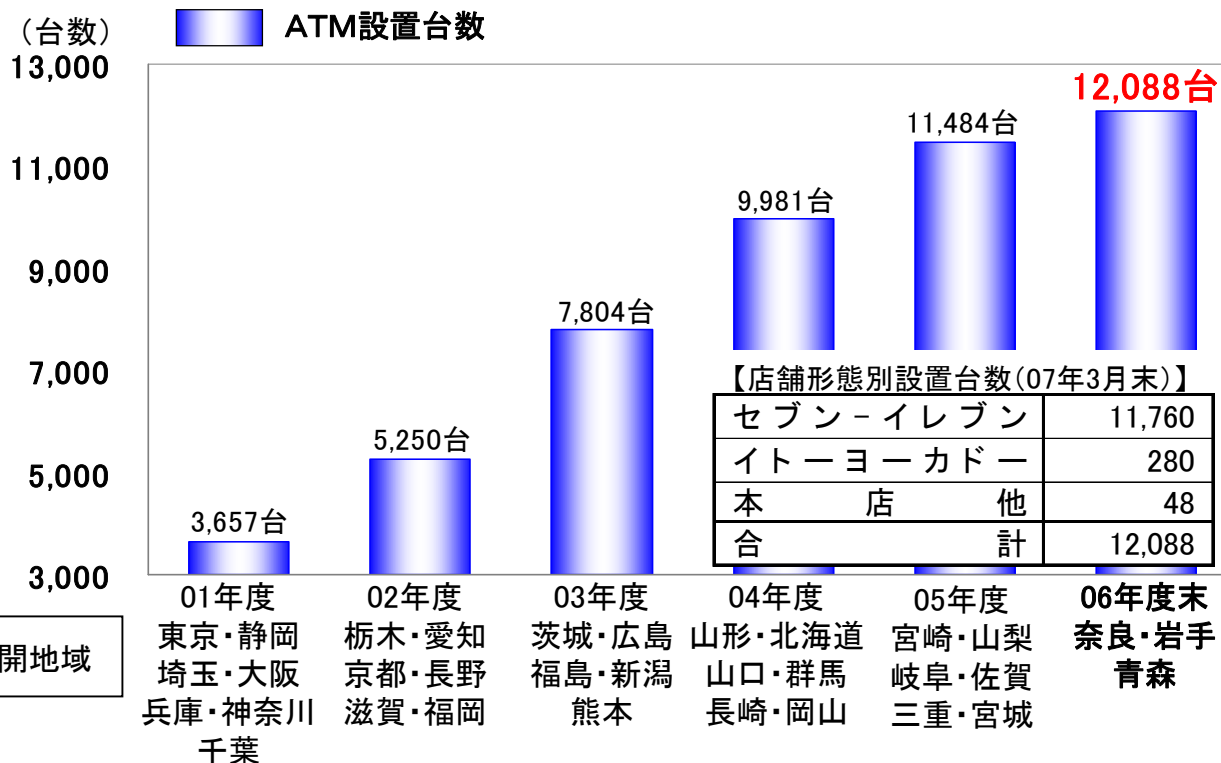
(総利用件数:百万件)

(期間平均利用件数:件)



ATM設置台数の推移

ATM設置地域は33都道府県に拡大。ATM設置台数は12,000台を超え、12,088台に。



新規展開地域

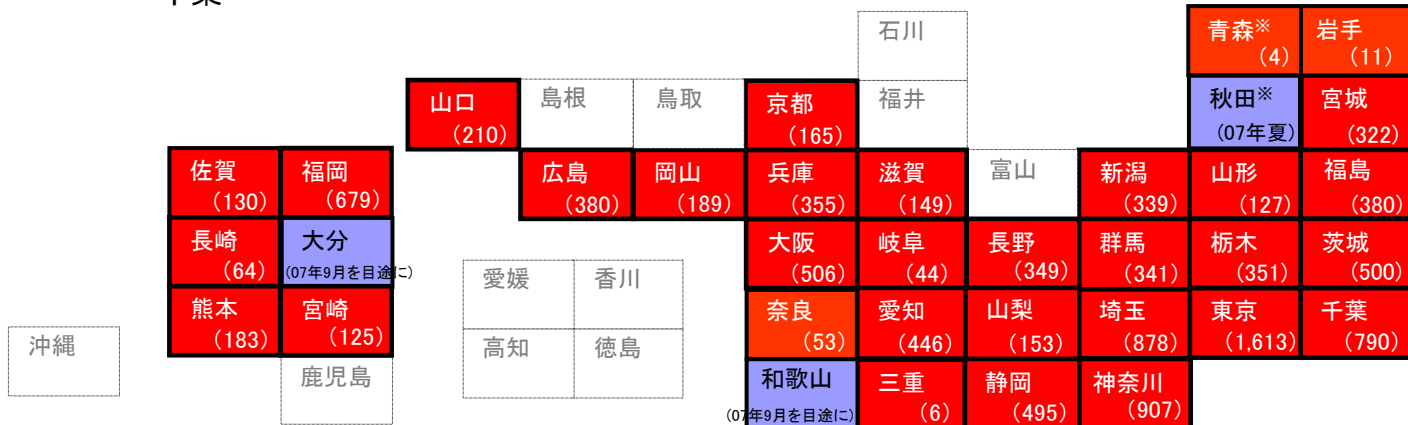
- 01年度: 東京・静岡 埼玉・大阪 兵庫・神奈川 千葉
- 02年度: 栃木・愛知 京都・長野 滋賀・福岡
- 03年度: 茨城・広島 福島・新潟 熊本
- 04年度: 山形・北海道 山口・群馬 長崎・岡山
- 05年度: 宮崎・山梨 岐阜・佐賀 三重・宮城
- 06年度末: 奈良・岩手 青森

北海道 (844)

ATM展開地域 (07年3月末設置台数)

ATM展開予定地域 (展開予定時期)

※青森県、秋田県にはイトーヨーカドーのみで、セブン-イレブンは未出店。



提携金融機関一覧



43社と新規提携し、提携金融機関数は548社。
06年7月、みずほ銀行との提携で、都市銀行すべてとの提携完了。

		01年度末	02年度末	03年度末	04年度末	05年度末	06年度末	06年度 新規提携先
提携金融機関	銀行	7行	15行	26行	49行	62行	79 行	東和銀行 仙台銀行 第三銀行 みずほ銀行 南都銀行 岩手銀行 東北銀行 北日本銀行 福井銀行 もみじ銀行 ソニー銀行 東日本銀行 北國銀行 北海道銀行 青森銀行 神奈川銀行 鳥取銀行
	信用金庫	-	-	240庫	241庫	255庫	263 庫 (合併により4庫減)	◆新規提携 12庫
	信用組合	-	-	-	117組合	122組合	124 組合 (合併により3組合減)	◆新規提携 5組合
	労働金庫	-	-	-	13庫	13庫	13 庫	-
	JAバンク	-	-	-	-	1業態	1 業態 [※]	-
	JFマリンバンク	-	-	-	-	1業態	1 業態 [※]	-
	郵政公社	-	-	1社	1社	1社	1 社	-
	証券会社	2社	2社	2社	2社	5社	8社	新光証券 岡三証券 SMBCフレンド証券
	生命保険会社	-	4社	5社	5社	6社	8社	朝日生命 明治安田生命
	クレジットカード会社 信販会社 消費者金融会社等	-	27社	35社	41社	47社	50 社 (統合により1社減)	ビジネクスTカード&マーケティング フルキャストファイナンス しんわ
	合計	9社	48社	309社	469社	513社	548 社	43社

※ JAバンク、JFマリンバンクについては、業態としてそれぞれを1つとしております。

広告宣伝活動、CSR活動

広告宣伝活動

各地域において広告宣伝活動を実施。

【新聞広告】 福井県 (06年11月)

福井銀行のキャッシュカードが、出張先や旅先で使えます。

出張先や旅先にあるセブン銀行ATMで使えます。

32都道府県
ATM設置台数 **11,800**台以上

セブン銀行ATM 福井銀行のキャッシュカードご利用時、手数料
毎日 8:00~21:00 手数料無料!
お預入れ・残高照会が毎日無料です。

www.sevenbank.co.jp
みんなのATM、セブン銀行

CSR活動

読み聞かせ絵本「森の戦士 ボノロン」をセブン-イレブン店舗やセブン銀行有人店舗、イトーヨーカドー子ども図書館等約11,400店で無料配布。

⇒親子の時間を大切にするためのコミュニケーションツール

【ボノロンの概要】

- ・タイトル: 森の戦士 ボノロン
- ・プロデュース: 原 哲夫
- ・発行・部数: 偶数月15日に発行・各回約100万部
05年6月より通巻12号発行。



(ボノロン06年10月号)

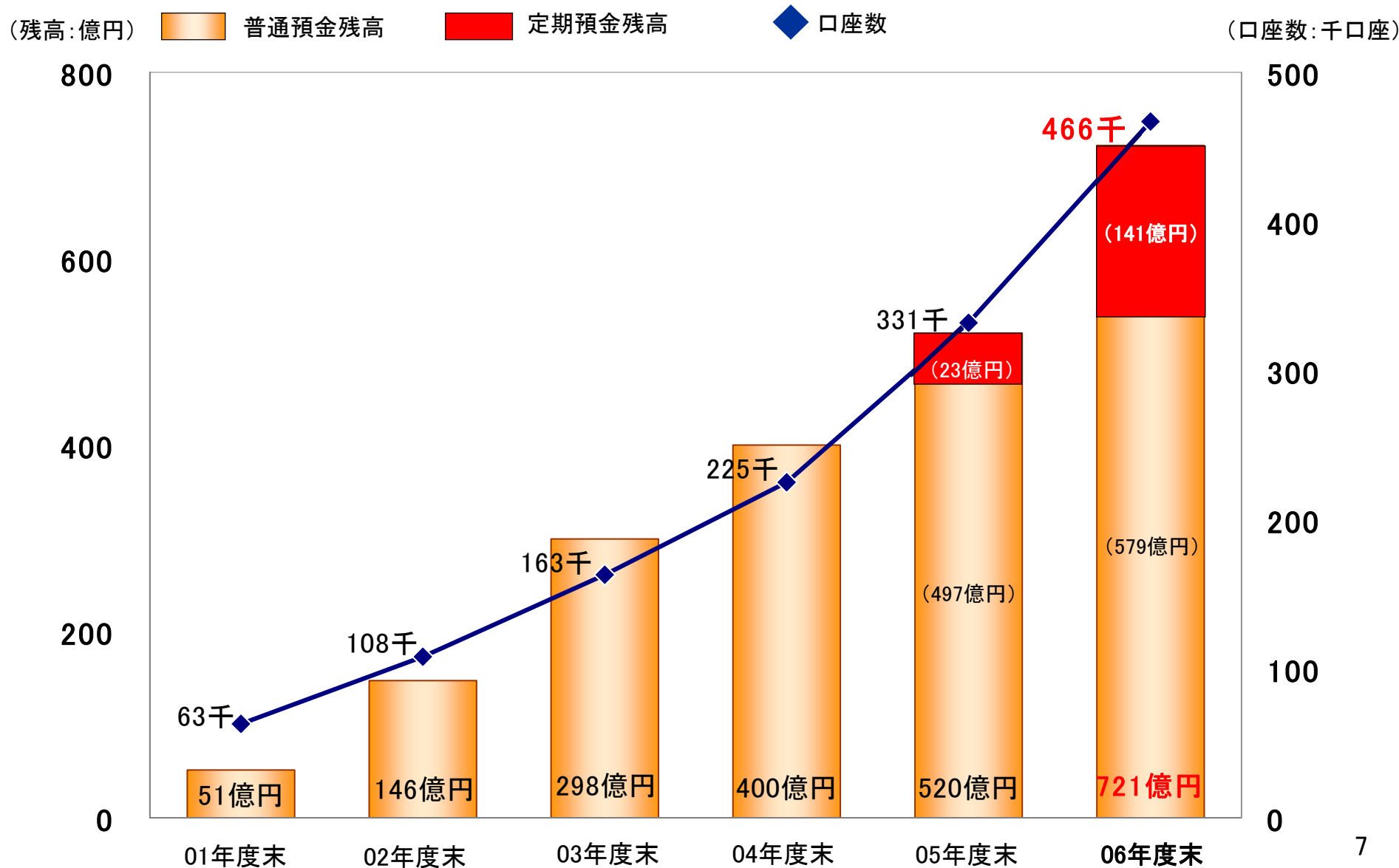
©NSP2005, ©ボノロンといっしょ。2007

【TVCM】 首都圏・関西・福岡 (06年7月~9月)



預金口座(個人)の状況

預金口座は40万口座超。定期預金は開始1年で100億円突破。



07年度業績見通し

08年3月末のATM台数は約13,000台、期間総利用件数4億9千8百万件、1日1台あたりの期間平均利用件数は約110件を見込む。

07年度は増収を見通すも、機能強化、新サービス提供に伴う投資負担及び制度変更による減価償却費の負担増等により、経常費用が増加し経常利益は減少。当期純利益は138億円を見込む。

単位: 億円 (単位未満は切り捨て表示)

	06年度実績	07年度見通し		07年度中間期見通し
			前年比(%)	
経常収益	754	832	110%	404
経常費用	504	591	117%	297
経常利益	250	241	96%	107
当期純利益	126	138	109%	64
期末ATM設置台数	12,088台	約13,000台	107%	約12,500台
期間総利用件数 (入金・出金・振込件数の合計。 残高照会は含まず)	418百万件	約498百万件	119%	約243百万件

1. ATM展開地域拡大 ～セブン-イレブン、イトーヨーカドー出店全地域へ～

- セブン-イレブン、イトーヨーカドー出店地域への展開は上期中に完了。
 - －秋田、和歌山、大分に展開
- 金融機関のATM運営管理一括受託により、07年度中に全国へのATM設置に目途。
- 既展開地域でも設置密度向上に注力。
 - －セブン-イレブン店舗への複数台設置(07年3月末現在128店舗)
 - －空港、公共交通機関等への設置

2. ATM機能拡充

- 海外発行カード対応(07年7月11日開始)。
 - －世界30億枚以上のカードがご利用可能に
- 電子マネー「nanaco」対応(07年秋開始)。
 - －ATMによるチャージが可能に
- 視覚障害者対応(07年秋開始)。
 - －ATM備え付けの「オートホン」で取引可能に(セブン銀行取引より対応開始。以降順次拡大予定)



(nanacoカード)

3. 新世代ATMは10,000台へ

○07年度中に約10,000台のATMが新世代ATMに。08年度には全台設置完了。

- ◆05年度、06年度設置地域：
(青森、岩手、宮城、埼玉、千葉、東京、神奈川、静岡、大阪、兵庫、奈良等、計約6,000台)
- ◆07年度設置予定地域：
(福島、茨城、栃木、群馬、新潟、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、和歌山、広島、福岡、熊本、大分等、計約4,000台)



(新世代ATM)

4. ICカード対応

○提携金融機関のICカード対応を順次拡大予定。

ーセブン銀行ATMでICカード取引可能な金融機関は29社(07年3月末現在)

5. ATM利用提携先の拡大

○引き続き地方銀行との提携を積極推進。

	提携予定先	(時期)
07年度	ブラジル銀行	(07年4月28日開始)
	秋田銀行	(07年夏)
	豊和銀行	(07年夏頃)
	福邦銀行	(07年夏頃)
	紀陽銀行	(07年9月を目途に)
	大分銀行	(07年9月を目途に)

(07年5月11日現在)

6. 関連ビジネスへの展望

○ATM画面を広告ビジネス等へ活用。



ATM画面広告
北九州市長選挙告知
(07年1月～2月)

7. セブン銀行口座

- 個人向け小口ローンの開始は、消費者信用をめぐる環境の変化等を見極めつつ慎重に対応。
- ネットバンキングのセキュリティ強化。
ーソフトウェアキーボードの標準化、アクセスチャネル・利用端末の制限設定 等

8. 銀行代理業務、取次ぎ業務の拡充

- 提携金融機関および商品・サービスの一層の拡充に注力。
- イトーヨーカドー5店舗で展開している有人店舗「みんなの銀行窓口。」では、引き続きお客さまのニーズを踏まえた、新しいビジネスモデルの実現を目指す。
- さらに、07年度は、取次ぎ業務のチャネルを拡充。
インターネットを活用して、セブン銀行らしい金融サービス提供にチャレンジ。



(イトーヨーカドー川口店出張所の様子)